

教育工学会シンポジウム
学習支援システムの立場から

赤堀侃司
東京工業大学

1. 学習支援の流れ
2. 実践との融合
3. いくつかの課題

1, 学習支援の流れ

背景

ICT教育の困難さ

2つの壁 (Ertmer,1999)

外的な壁

内的な壁

4Eモデル (Collis,2001)

環境

効果

容易性

個人の関わり

学習支援の要因

1. 学校の内か外か
2. 同期か非同期か
3. 個人か協同か
4. 教員の関わり
計画か、実行か、評価か
5. 発表か交流か

6. 対面か遠隔か

7. 固定かモバイルか

8. コンテンツかツールか

9. 教員の活動か生徒の活動か

10. 教科の学習か情報活用能力か

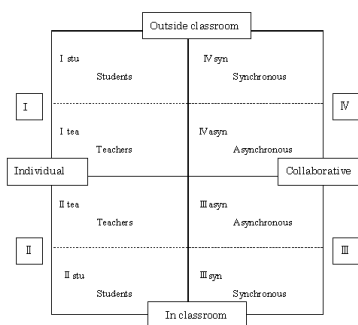


Fig. 1 Framework of ICT use in classes and eight types

1. 教科ベース

教室内・個人

2. プロジェクトベース

教室外・協同

3. イン트라ネットベース

教室内・協同

4. リソースベース

教室外・個人

1. 教科ベース

資料提示
プレゼンテーション
教師の補助
教師のアドバイス
教科の学習
個別学習への対応
視聴覚教育との違い

2. プロジェクトベース

交流学习
研究プロジェクト
垣根を越える
技術支援
問題解決型
時間や準備
肖像権や著作権

3. イン트라ネットベース

校内LAN
電子掲示板
グループ学習
モデリング
情報の共有
学力の課題

4. リソースベース

家庭での学習
相互評価
素材と教材（コンテンツ）
e-learning
情報倫理
情報格差

まとめと課題

1. 変遷と繰り返しがある
2. 学力との関連が大きい
3. 情報モラルの課題
4. 仮想か現実かの課題
5. ITかICTかの課題
6. 管理運営の課題
7. 心理的な距離感の課題

2. 実践との融合

- (1) 広場であること
井戸端会議
非公式な広場
大学でのアクセス
保護者からのアクセス
コミュニティの変化
→ 電子カウンセリング、掲示板

(2) 方法知を学ぶ

作品、レポート、論文

デジタル化

データベース化

モデリング

検索できる

→ デジタルポートフォリオ

(3) 異なる意見を知る

TV会議

掲示板

立場が異なる意見

受け入れ、認める態度

(インタビュー、質問)

→ i-room, TV会議

3. いくつかの課題

(1) ITの持つ両面

ITは、道具

ITは、身体の一部

ITは、没頭させる

現実と、仮想の世界

(2) 情報社会に生きる

良い医者と悪い医者 (永六輔)

現実からのメッセージ

正しくITを使う能力

(3) プレゼンスということ

eラーニングの研究

存在感

前向きに考える